

### 施設整備費の内訳（案）

施設整備費計：341.2億円

移管前 258億円					移管後 83億円		
新型鉄道車両の導入 176億円	運行本数増、車両導入等による改良 44.8億円	ICカード対応 4.6億円	移管に伴う整備 13億円	既存施設の再整備（移管前） 20億円	既存施設の再整備（移管後） 30億円	直通化 37.8億円	旅客案内システムの整備 15億円
移管前（JR路線の間）：国 1/3、県、沿線市 1/3、JR西日本 1/3					移管後：国 1/2、県、沿線市 1/2		
JR西日本 1/3 86億円	国 1/3 86億円	県、沿線市 1/3 86億円		県、沿線市 1/2 41.5億円		国 1/2 41.5億円	
					県、沿線市 128億円		
					交付税措置（45%） 58億円	県負担 35億円	沿線市負担 35億円
					県と沿線市の負担割合 1：1		

（ 拠出金（150億円）のうち施設整備費に充当した残余（64億円）は経営安定基金へ組み入れ

沿線市負担の35億円は、一旦県が立て替え、沿線市が県へ分割払い（30年を目安）